

## 鳥居

この高さ 7 メートルの鳥居は 1928 年に、その 2 年前にあった昭和天皇の即位を祝って建てられた。鳥居に掲げられている扁額には、この神社の三主祭神の一体である布津御魂大神（ふつのみたまのおおかみ）の名が記されている。

鳥居は、神道の神々の神聖な領域と、日常という俗世間との境界を示すものである。鳥居をくぐることは、寺院や教会やモスク、シナゴークなどの扉を通ることに似ている。

鳥居の起源については複数の説がある。伝説によると、太陽の女神である天照が洞窟に隠れてしまったのを、世界に光を取り戻すため誘い出そうとして、数多の神々が鶏を集めて鳴かせた止まり木が最初の鳥居であったという。この由来を裏付けるように、「鳥居」は「鳥の居場所」という意味の漢字で書かれる。